

令和6(2024)年度のEPO業務 事務局案 説明資料

2024年5月29日

第1回 EPO中部・中部地方ESD活動支援センター運営委員会

地域循環共生圏づくり等における支援・連携

(環境省事業「地域循環共生圏づくり支援体制構築事業」の
今年度の採択団体等)

参考サイト:[環境省の地域循環共生圏ポータルサイト](#) 

a) 環境省事業(共生圏事業)の選定団体

※①: 中間支援主体、②: 活動団体

- PF丹南: ①ローカルSDクリエイション、②エコ・グリーンツーリズム水の里しらやま
- PF長野: ①長野県NPOセンター、②芋井地区住民自治協議会
- PF半田: ①半田市、②半田市地域循環共生圏推進協議会


【選定団体への支援に加えて】

- 6月に、中部ブロックのキックオフ会合を開催
- 10月に、中間共有会(取組報告会)を開催
- 過年度採択団体の取組状況の把握(ヒアリング実施)
- 次年度応募団体の把握

b) 自治体及び協働コーディネーターとの連携事業

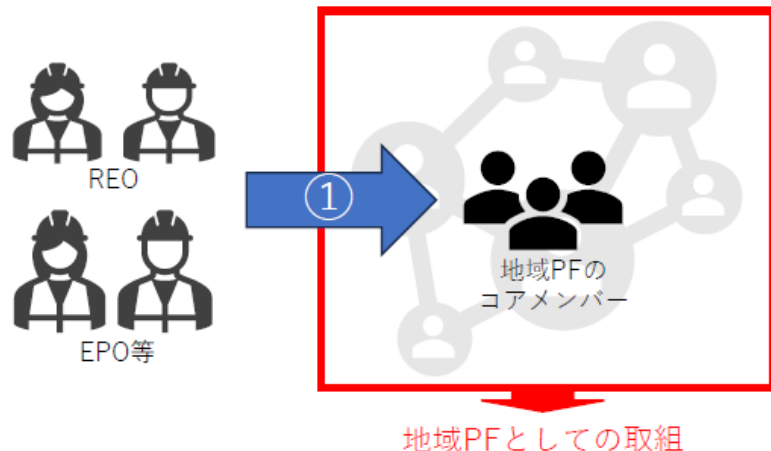
- 「中間支援」をテーマにしたセミナー等の開催(1回)
- 富山県内の協働コーディネーター2名と連携・共催し、「地域循環共生圏」をテーマにしたフォーラム等開催(計2回)
 - (株)ティー・ツリー・コミュニケーションズの茶木氏、PECとやまの堺氏
- 協働コーディネーターとの意見交換会の実施(1回)
- 地域循環共生圏づくりの活動評価手法の検討: 有識者による検討WKGの実施(3回)
 - 検討結果をa)・b)の団体／取組へフィードバック、成果冊子とりまとめ

c) その他／企画: 中部事務所、運営: EPO

- 身近な自然資本活用に関する意見交換会の実施(2回)
⇒ 具体的な連携先は未定
 - 自然資本を基盤とする地域づくりに関するパートナーシップ促進=地域循環共生圏づくり、及びOECM  をテーマにした会合等
- グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進会合の実施(4回)
⇒ 具体的な連携先は未定
 - ヒト・モノ・カネ・情報をつなぐ場の開催と地域内の対話の促進により、地域循環共生圏のドミノ波及を図る

参考) 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業の新しい枠組み

共生圏PF事業 (R1~R5)

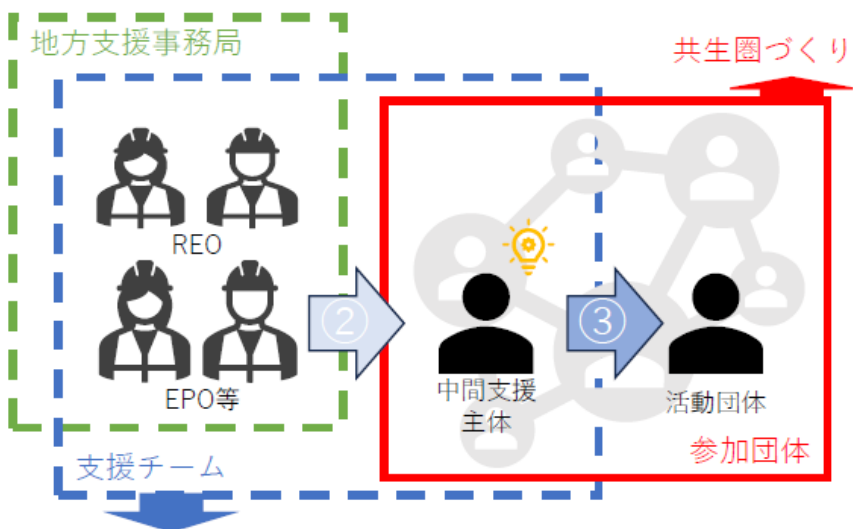


※昨年度まで:活動団体のみを選定。

・ EPO等による支援の対象は地域プラットフォームのコアメンバー（≒採択団体の担当者+α）が基本。

・ 個別事業評価の観点「自立した地域が立ち上がったかどうか」であり、具体的には地域PFの取組が継続しているかどうか、具体的なローカルSDGs事業を生み出したかどうか、地域PFを立ち上げるプロセスに多様な主体が関わったかどうか、などを指標としている。

支援体制構築事業 (R6~R10)



※今年度から:活動団体とその支援にあたる中間支援主体がセットで応募する/選定される事業に。

・ 中間支援主体による支援 (③) 能力の形成を地方支援事務局は支援 (②) する。

・ 3者 (REO・EPO等・中間支援主体) で活動団体への支援の準備MTG (見立て・打ち手の検討)
⇒ 4者 (REO・EPO等・中間支援主体・活動団体) のMTG※ (打ち手の実行) を繰り返す
→ そのプロセスをREO・EPO等で振り返る
※4者MTGの実施や、活動団体との関わり方は、各地方や各団体のフェーズで必要に応じて。

・ 個別事業評価の観点は「自立した地域が立ち上がったかどうか」に加え、「中間支援主体が共生圏づくり (地域PF構築) の支援ができるようになったかどうか」。

中間支援主体の能力形成

- 中間支援主体の育成・展開が目的
- 地方支援事務局の支援の中心は中間支援主体

環境省の地域循環共生圏事業における中間支援とは

- 地域循環共生圏づくりを進めようと考えている団体に対して、地域循環共生圏の考え方に基づき、資源連結、プロセス支援、変革促進、問題解決提示等の中間支援機能を発揮することで、パートナーシップによって地域循環共生圏づくりを推進することを指します。

チェンジ・エージェント機能	内容
変革促進	取組の停滞を打破したり、円滑化するため、やり方を工夫したり、変化させる
プロセス支援	関係者の納得度合いや先を見越したステップの確認など
資源連結	情報提供・資金調達・人材紹介・他地域の事例や人材の紹介など
問題解決提示	取組の停滞や促進を妨げている課題に対する対策の提案など

アクション	内容
情報提供・収集	活動の活性化に関わる多様な情報の収集・提供を行う
相談・コンサルティング	運営マネジメントに係る広範な相談に対し、助言等を行う
人材育成支援	市民活動団体スタッフや市民のスキル向上等を図る
資金調達支援	組織の立ち上げや運営に係る資金調達の助言等を行う
ネットワーク形成支援	あるテーマについて複数の団体の交流、連携を促進する
政策提案	社会課題とその解決策について政策提言・提案を行う

出典・引用:『環境保全からの政策協働ガイド～協働をすすめたい行政職員にむけて～』
https://www.geoc.jp/content/files/japanese/2018/02/seisakukyoudo_guide2017.pdf

主催イベント業務

2024年度EPO中部主催イベント／会合案

区分	エリア	設営	時期	テーマ／内容等	連携先／関係者／登壇者等	
①中間支援セミナー	中部			テーマ: 中間支援、活動の地域ビジネス化 (または、活動の可視化と指標; 下記④活動評価検討WKGとの連動企画など)	<ul style="list-style-type: none"> 参加or登壇: 共生圏事業中間支援主体 「地域ビジネス化」…共生圏事業落選団体からの支援リクエスト ④連動企画…ツール活用の想定: オンライン開催によるアーカイブ動画、成果冊子の活用・会場配布 等々 	
②地域主体共催フォーラム(2回)	富山県			富山における地域循環共生圏づくりシリーズ①: 上市町	<ul style="list-style-type: none"> 富山県の協働コーディネーターお二人による連携展開の企画を検討・調整中 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 茶木氏(株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ) ➢ 堺氏(PECとやま) 	
	富山県			富山における地域循環共生圏づくりシリーズ②: 富山市		
③協働コーディネータ意見交換会	愛知県名古屋市	リアル	8月28日	地域循環共生圏づくりにおける「中間支援」機能とは? 活動現場の課題感とは?	<ul style="list-style-type: none"> 既存の協働コーディネーター 話題提供: 中部事務所、(共生圏事業)丹南・長野、(EPO共催共生圏フォーラム)ネクストステップ研究会 など 	
④活動評価手法検討WKG(全3回)	富山	リアル	6月5日	第6期評価手法実績共有、第7期検討計画策定	<ul style="list-style-type: none"> 検討会設置、メンバーは古澤氏、水上氏、堺氏を想定 	
	福井	リアル	9-10月	評価実績を活用した事例検討(2事例)	<ul style="list-style-type: none"> 協働コーディネーター関係活動や地域循環共生圏事業等を中心に対象事例を選定 	
	名古屋	リアル	11月	事例フィードバックの検討と課題抽出	<ul style="list-style-type: none"> 課題抽出を踏まえDX導入のための専門家オブザーバー参加を検討 	
共生圏事業	⑤キックオフ会合	愛知県名古屋市	リアル	6月26日	地域循環共生圏事業の「活動団体」を対象にした中部ブロックのキックオフミーティング(「中間支援団体」も同席)	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体による活動計画等の発表 ステークホルダー整理作業ワークショップ①
	⑥中間報告会	長野県長野市	リアル	10月23-24日	地域循環共生圏事業の「活動団体」を対象にした中間共有会 & エクスカーション	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体による中間報告発表 ステークホルダー整理作業ワークショップ② 長野市芋井地区の活動関連施設等の視察エクスカーション
⑦全国EPO連絡会	富山県	リアル	10月	<input type="checkbox"/> 会議(1日目午後+2日目午前) <input type="checkbox"/> エクスカーション(0.5日または1泊2日)	<ul style="list-style-type: none"> 会議: 富山駅前 エクスカーション: 上記②の協働コーディネーターによる案内で、上市町、南砺市の協働取組関係の施設見学など 	

2024年度地域循環共生圏推進会合案その他(中部事務所企画)

区分	エリア	設営	時期	テーマ／内容等	連携先／関係者／登壇者等
⑧身近な自然資本の活用に関する意見交換会等	石川県 白山市	リアル or ハイブリッド	12月 以降	白山エリアのアドベンチャーツーリズム勉強会 またはフォーラム	<ul style="list-style-type: none"> 協力／共催等：白山手取川ジオパーク推進協議会、白山ユネスコエコパーク協議会 日本アドベンチャー協会によるアドベンチャーツーリズムをテーマにした講演等
	愛知県 名古屋市	ハイブリッド	2月 19日	地域循環共生圏構築に向けた身近な自然資本の活用に関する意見交換会 ～『生物多様性増進活動促進法(新法)施行に向けて』	<ul style="list-style-type: none"> 東海エリアの県・市町村、EPOC会員企業による参加 自然共生サイト認定の審査委員、本省自然環境計画課による講演、愛知・三重の自然共生サイト5事例の紹介 など
⑨G社会実現に向けたステークホルダー連携促進業務	福井県 福井市	ハイブリッド	未定	地域脱炭素の実現に向けた事業者・金融機関向けセミナーin北陸	<ul style="list-style-type: none"> ※前年度に中止延期となった企画を再調整等して開催予定。 主催：財務省北陸財務局、経済産業省近畿経済産業局、環境省中部地方環境事務所、EPO中部／共催：株式会社福井銀行
	愛知県 名古屋市	ハイブリッド	未定	サーキュラーエコノミーフォーラム(仮)	<ul style="list-style-type: none"> ※前年度に中止延期となった企画を再調整等して開催予定。 登壇者：中部地方環境事務所、3自治体(愛知県、蒲郡市、高岡市)、3事業者 など予定
	三重県 伊勢志摩	リアル	未定	伊勢志摩の環境のあり方・方向性についてアイデアを出し合う(計3案)	<ul style="list-style-type: none"> 案①農業者、住民、行政、観光事業者、経済関係者など 案②農漁業者、住民、行政、観光事業者、経済関係者など 案③住民、行政、観光事業者、農林漁業者、経済関係者など
	三重県 鳥羽市	リアル	未定	環境を付加価値とする鳥羽エリアの今後の観光のあり方について考える(仮)	<ul style="list-style-type: none"> 協力：鳥羽市、鳥羽温泉協会 登壇：鳥羽水族館、ミキモト真珠島など想定 志摩市、伊勢町、南伊勢町によるオブザーバー参加
⑩白書を読む会	中部	福井開催	夏頃	令和6年版 環境白書を読む会	<ul style="list-style-type: none"> 企画：中部地方環境事務所 登壇：白書概説…本省総合政策課等、白書掲載の事例・取組の紹介…PF丹南

①中間支援セミナー

- 「中間支援」をテーマにした勉強会等
- 共生圏事業落選団体からのリクエスト
テーマ:活動の地域ビジネス化
- 活動評価検討(表中④)との連動を想定(その他②～⑥との連動も想定)
 - ツール化(アーカイブ動画公開)等を想定してオンラインメインでの実施も想定
 - 成果冊子への活用や、成果冊子の配布など
- **実施内容(プログラム)案**
 1. ごあいさつ
 2. 基調講演・・・テーマ「地域活動の地域ビジネス化」
 3. 話題提供1・・・環境省の地域循環共生圏事業の概説、中間支援能力育成の意図 等
 4. 話題提供2・・・地域循環共生圏事業選定・中間支援主体(中部3団体)による事例紹介
 5. 話題提供3・・・EPO中部による活動評価検討の現状と目指す成果想定

②地域循環共生圏フォーラム

- 「地域循環共生圏」をテーマにした地域での実践的なイベント・会合等
- 富山県の協働コーディネーター2名の連携による企画などを実践予定
 - 茶木氏(株式会社ティーツリーコミュニケーションズ)
 - 堺氏(PEGとやま)
- 企画段階や、関係機関との調整プロセスでのステークホルダー巻き込みを重視
 - 共生圏事業応募を検討した際に、自治体の巻き込み、関係構築の難しさなどの課題あり。
- **例年の実施内容(プログラム)**
 - 前半:講演+地域の取組発表によるフォーラム
 - 後半:地域循環共生圏づくりを想定したい地域要素抽出／地域のなりたい未来像づくりワークショップ

- 開催日: 8月28日(水)13:20~16:20予定
- 開催方法: リアルのみ 会場: ウィンクあいち
- 会合での実施内容《案》
 - ① 自己紹介(新メンバー紹介)／近況報告
 - ② 話題提供1: 環境省トピック…中部地方環境事務所
 - ③ 話題提供2: 協働コーディネーターから
 - ・ PF丹南: 三田村氏、PF長野: 吉田氏から「地域循環共生圏事業について」
 - ・ そのほか「EPO中部との連携取組等の紹介」
 - ④ 話題提供3: EPO中部から「活動評価手法の検討について」
 - ⑤ 意見交換
 - ・ ①～④への質疑応答
 - ・ 次年度の地域循環共生圏事業への応募の予定
 - ・ EPO中部との地域実践活動等での連携の可能性や希望する地域／団体
 - ・ 新たなネットワーク(協働コーディネーターとの協力体制・新メンバー等) など
- 懇親会(～19時めど終了予定)

⑤地域循環共生圏づくり事業 キックオフミーティング

● **開催日**: 2024年6月26日(水) 13:15~16:15

● **会場**: ウィンクあいち 13階・会議室1307

- 名古屋駅から徒歩5分 <https://www.winc-aichi.jp/access/>
- 〒450-0002愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

● 実施内容(プログラム)予定

1. ごあいさつ／地域循環共生圏とは(及び本事業について) (10分)
2. 講演「地域循環共生圏づくりで大切なこと(仮)」 (40分)
3. 参加団体による本事業での取組内容紹介 (15分×3地域=45分)
4. 質問&交流タイム&休憩(20分)
5. ワークショップ:ステークホルダーの紹介&巻き込みアイデア出し(65分)

※16:00~16:45:時間オーバーの吸収・調整、事務局後片付けの間も交流タイムとします。

● **終了後**:懇親会(17:00~19:00)

- 会場:名古屋駅、及びキックオフ会場から徒歩数分内を予定

- 開催日:2024年10月23日(水)~24日(木)
- 会場:アソビーバ ナガノパーク(予定) 会議・懇親会・宿泊(1泊朝食付き)
 - 長野県長野市上ヶ屋2471-79 <http://www.azeiria.com/>
 - 長野駅から施設バスで送迎

● 実施内容(プログラム)予定

《中間共有会》1日目

1. ごあいさつ
2. 参加団体による中間報告 (15分×3地域=45分)
3. 質問&交流タイム
4. ステークホルダーのチャート図表等作成ワーキング

《エクスカージョン》2日目

- PF長野の活動関係施設等の見学
- 「草刈りバスターズ」参加体験 など

- 全国EPO連絡会・全3回の会議のうち第2回会議は、毎年、地方開催。
- 今年度は中部で開催。
- 例年10月に2～3日間開催。
 - 1日目pm～2日目am ……会議
 - 2日目pm～3日目 ……エクスカージョン(視察)
- 中部開催地:富山県富山市(富山駅前)で調整中
- エクスカージョン:EPO業務の関係地・施設等の視察
 - 協働コーディネーター・茶木氏による案内……富山県上市町の地域課題解決と地域資源循環の取組の関係地
 - 協働コーディネーター・堺氏による案内……富山県南砺市のエコビレッジ、コミュニティファンドなどの関係地

参考) 2019年度業務で作成 南砺市エコビレッジ事業の活動見える化チャート

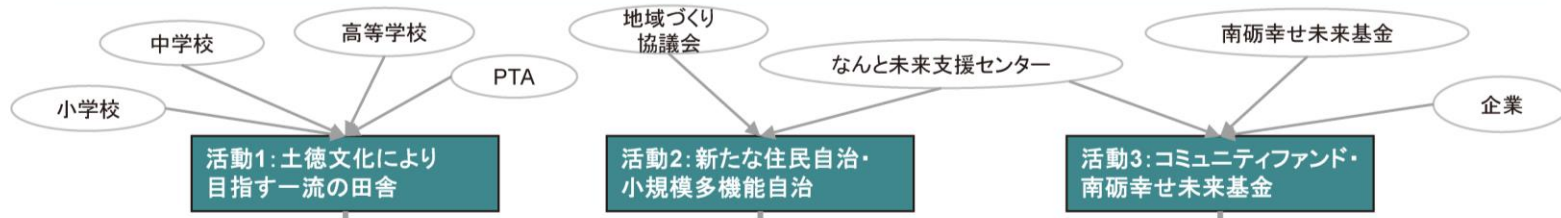
「南砺市版エコビレッジ事業」の更なる深化 ~域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装~ (富山県南砺市)

南砺市SDGs未来都市の取組

EPO中部:原(2019)

2019年「SDGs未来都市・自治体 SDGs モデル事業」に下記内容で採択される。南砺市エコビレッジ構想をベースとし、2030年にありたい姿となる世界に発信する「南砺版エコビレッジ」の実現を目指し、「心豊かな「結」と「土徳」のまち創造／多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造／南砺版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造／文化・芸術・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造」のビジョン実現を加速する取組を推進する。そのためこれまでのSDGs貢献事業を継続拡大し深化、加速する「環境・社会・経済」の3側面を統合する3つの基盤となる取組を実施

協働による地域活動



地域循環共生圏貢献

経済

活動1: 伝統工芸品を磨き上げることや文化芸術を発信することによって、外貨の獲得が期待できる。
・桜ヶ池合掌造り家屋「かず良」での人材育成

活動2: 同事業で抽出された課題を解決する際に新たな雇用が生まれることや課題解決に伴った地域住民の生きがいが醸成されることが期待できる。
・オーガニック街道の整備
・南砺ブランド商品開発支援事業

活動3: 地域貢献商品化への投資など、あらゆる人のチャレンジについて経済的な支援を行い、地域経済の活性化及び生きがいの醸成への貢献が期待される。
・空き家活用型しごとの場創出支援事業
・クリエイター育成マッチング事業
・なんとポイント事業

環境・社会・経済 3側面の取組

環境

活動1: 昔ながらの手仕事を再評価することによって、自然との共生を意識することが期待できる。
・エコビレッジ部活動
・森里川海の連携「マイクロプラスチック、海洋汚染抑制」
・いのちの森をつなぐ次世代人材の育成「森の学校」「森の保育園」創設

活動2: 本組織を媒体とした地域単位の活動により美化活動の推進が期待される。また環境保全の意識の高まりによってごみの減量化、資源化を促進することが期待できる。

活動3: 環境に配慮した事業へ支援することによって市民に環境保全への意識付けを行うことが期待できる。
・森林資源エコシステム構築事業
・新たな暮らし方の提案「エコビレッジ住宅ゾーン」事業

社会

活動1: 魅力ある地域を発信することによって交流人口の増加が期待できる。また市民一人一人が地域に対する誇りを持つことができ、それが将来を担う人材育成に寄与することが期待できる。
・ふるさと教育推進事業
・世界遺産合掌造り家屋の保存、茅場再生
・学校間をつなぐ遠隔協働学習事業

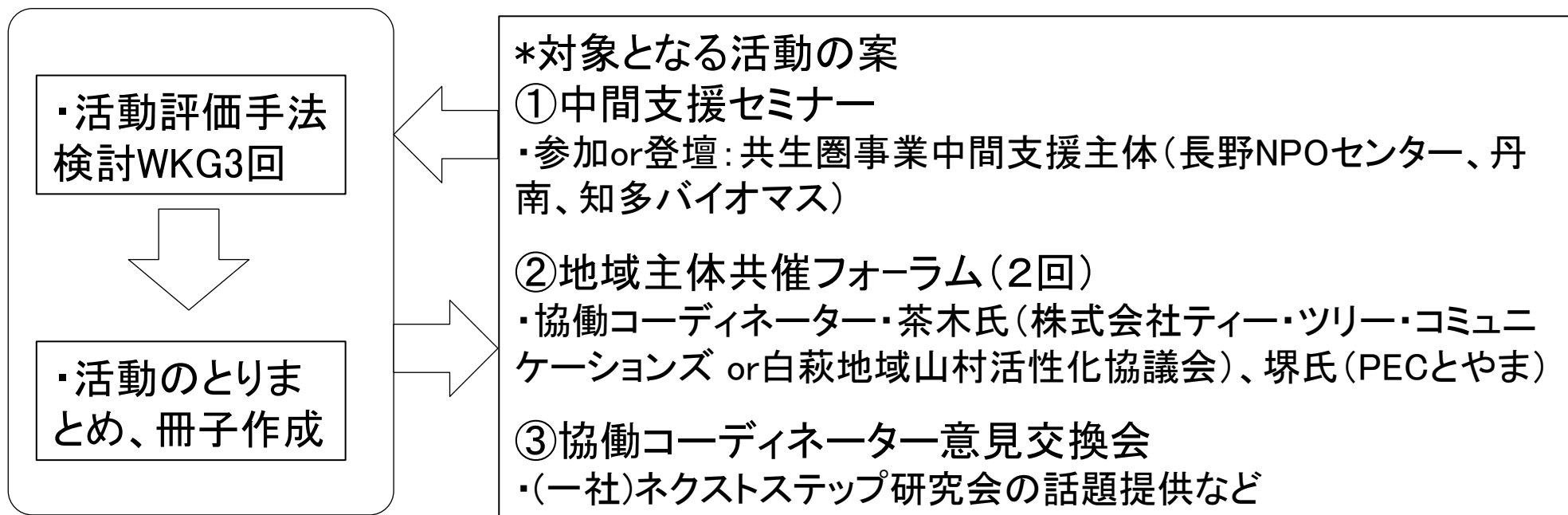
活動2: 自治組織を形成することにより、あらゆる世代が交流する機会が生まれ、地域の自然と地域文化や考え方の継承が期待できる他、地域への理解促進にもなった地域への愛着の醸成が期待できる。以下の事業の深化。
・地域包括ケアシステム

活動3: ファンドの資金援助によって課題解決が促進されることが期待され、暮らしやすい社会の構築に貢献する。
・世界遺産合掌造り家屋の保存、茅場再生



独自プログラム：
地域循環共生圏づくりの活動評価の検討
(④活動評価手法検討WKG)

活動評価手法検討WKG活動概要(仕様書より)



自治体や協働コーディネーター間の情報・意見交換の促進、活動の地域循環共生圏への貢献についてのフィードバック

第6期までの成果を踏襲し、有識者(大学教授級、3名程度)によるワーキンググループにより、地域循環共生圏づくりの活動の評価手法を検討するとともに、検討結果を「上記ア、イ」*にフィードバックする。また、成果を冊子にまとめる。

学び合いプロジェクト有識者検討会

古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授、中部ESD拠点協議会事務局長

水上聡子 EPO中部運営委員、アルマス・バイオコスモス研究所代表

堺 勇人 EPO中部運営委員、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま（PECとやま）事務局長

原 理史 中部地方ESD活動支援センター、中部大学国際ESD/SDGsセンター研究員

【オブザーバー】環境省 中部地方環境事務所環境対策課

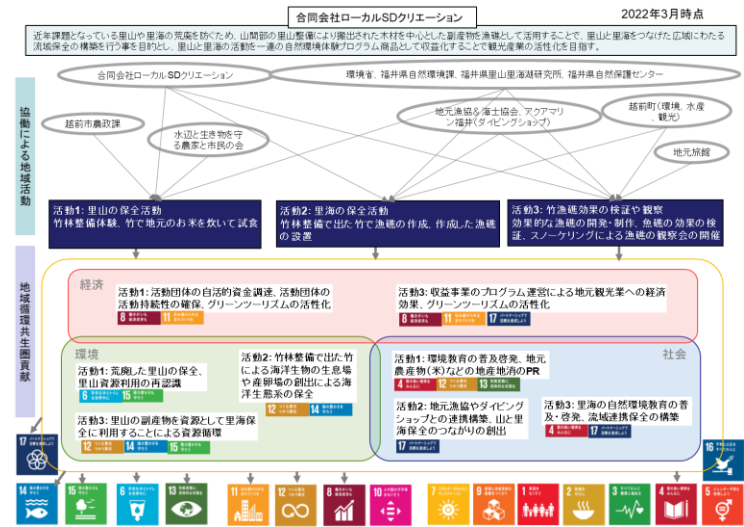
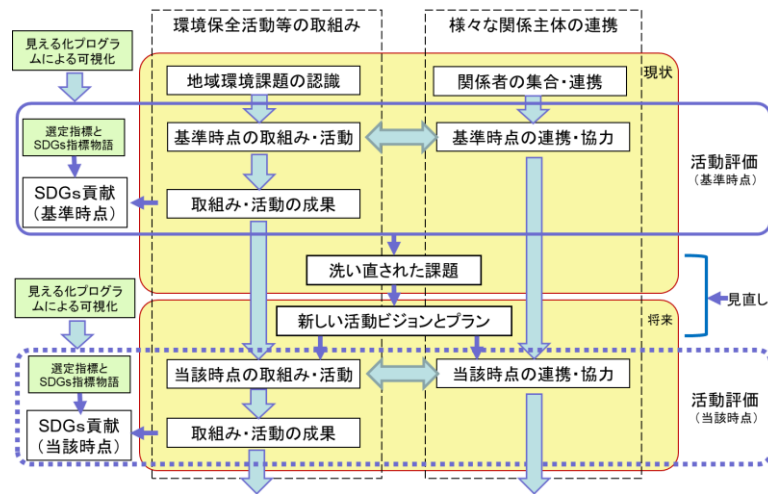
【事務局】清本三郎 EPO中部統括

富山	6/5	第6期評価手法実績共有、第7期検討計画策定
福井	9～10月	評価実績を活用した事例検討(2事例)
名古屋	11月	事例フィードバックの検討と課題抽出

参考) 第6期までの独自プログラム構築の実績

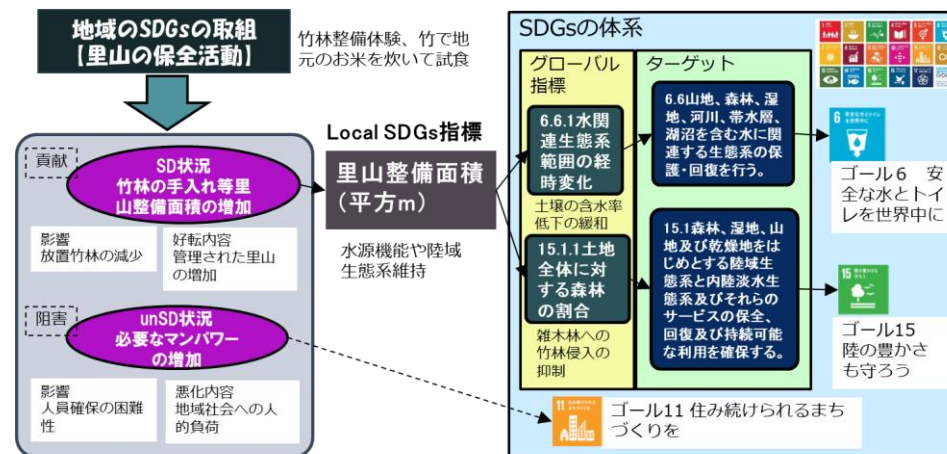
活動見える化プログラム

協働取組と環境・社会・経済への貢献の状況をその時点で表す



SDGs指標物語

選択した指標がSDGsの達成においてどのような貢献を表せているのかを言語化、可視化する



その他

地球環境基金／全国ユース環境活動発表大会の支援

※ (独)環境保全機構(ERCA)との連携業務 <https://www.erca.go.jp/>

- 次年度の地球環境基金(助成金)公募の説明会開催、全国ユース環境活動発表大会への協力等が予定されている。

愛知県環境学習コーディネート業務

※ 愛知県からの受託業務 <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000060443.html>

- 環境学習に関する学校等からの相談・照会依頼に対し、相談業務10件、コーディネート業務7件を実施予定となっている。

セブンイレブン財団【未】

- GEOC・EPOとの連携を検討中。
- 協働コーディネーター意見交換会にオブザーバー参加したいとの意向あり。

次回会議について

次回・運営委員会の開催について

- 開催時期：1～2月予定
- 開催方法：オンライン
- 時間：13時00分～16時00分（3時間程度を予定）
- 主な議事内容
 - ESD業務、EPO業務の今年度の実施内容について報告
 - 次年度展開に向けた検討・意見交換等